

若者 100 人 超交流会 開催結果報告

1. 開催結果概要

開催日時:令和元年 9 月 29 日(日)13:00~15:30(12:30 開場)

開催場所:長崎県庁行政棟 2 階 食堂

来場者数:約 70 人



ファシリテーター:鳥巢智行氏

電通 B チーム コピーライター / 企業の広告コミュニケーションから新商品開発まで幅広く手がける。B チームで開発したアイデア発想のプロセスなどを活用した企業研修なども行う。長崎出身で、独自の平和活動に取り組んできたため、B チームでのリサーチ分野は「平和」。

<当日のながれ>

1. はじめに

ワークショップ開催趣旨、長崎市の現状等について説明

2. ミラクルワードカードとは

ワークショップで使用するアイデア発想ツール「**ミラクルワードカード**」[★]について説明

3. アイスブレイク

ミラクルワードカードを使用した参加者同士の自己紹介を実施

4. ワークショップ

- ①「長崎の良いところ・悪いところ」について考える
- ② ①で出た意見からキーワードを決める
- ③ ②で決めたキーワードを基に、ミラクルワードカードを使用し、これからの長崎を良くするアイデアを生み出すワークショップを実施
- ④ ③で出てきたアイデアを各自アイデアシートにまとめる
- ⑤ アイデアをグループで共有し、グループとして発表するアイデアを決める
- ⑥ 各グループ発表、市長賞の決定

5. おわりに

市長総括

★ ミラクルワードカード:



ミラクルワードとは、「夜の_____」「大人の_____」「閉店後の_____」など、その言葉がただで企画になってしまう魔法の言葉が書かれたカード。ゲームのように楽しみながら、1時間で数十個のアイデアを生み出すアイデアパーソンに誰もがなれてしまいます。

2. 当日の様子



交流会の開催趣旨及び長崎市の人口推移等、これからの長崎市の現状についての説明を行いました。



マジカルワードカードを活用し、各グループに分かれて長崎を良くするアイデアを出し合いました。長崎の強みや課題、活性化策について様々なアイデアが生まれ、また、高校生から社会人まで若者同士の繋がりも生まれた場となりました。

3. 参加者アンケート

交流会に参加いただいた方に、本日の交流会で気付いたこと等について、アンケートにご協力いただきました。

<Q.あなたが考える「長崎がより良くなる」ためのアイデア>（一部抜粋）

- ・ 共働き世帯中心の団地があると良い。ご飯をつくるのが大変だったり、家事で子どもと一緒にいる時間が少なかったりするので、団地内に子ども食堂やスーパーなどをつくる。
- ・ 子どもや高齢者が主体のイベントをしてみてもどうか。
- ・ 市民一人一人がもっとまちづくりに関わられるような政策をつくる。
- ・ 坂、人口流失をどうにかしたい。そのためにも、自虐ネタを逆手にとったものも含めたPRをしてはどうか。
- ・ バス等の情報をYahooの路線マップですべて見られるようにする。
- ・ 「つり」を観光コンテンツとして、売れる仕組みをつくる（漁業者と共に）。
- ・ 若者が交流する場を定期的につくる。
- ・ ビジネスがしやすい環境づくり。
- ・ もっと職や学校を増やす。（長崎では法学や服飾はあまり学べない）
- ・ 人口減少が続いているので長崎に住んでよいと思ってもらえるよう家賃を安くしたり、高賃金の仕事や働く場所をもっと増やす。

ワークショップやアンケートで、たくさんの「これからの長崎を良くするアイデア」をいただきました。

いただいたアイデアを形にしていけるよう今後も一生懸命まちづくりに取り組んでいきます。